

「事例検討会のポイントを理解する～気づきの事例検討会の意義・目的・その実践～」

実施日：令和3年10月30日（土）

会 場：JA会館別館

講 師：日本女子大学名誉教授 渡部律子先生

参加者：74名 ファシリテーター11名 計85名

研修内容

10:00 開会挨拶(山口理事長)・オリエンテーション(総合司会：位頭薫)

10:05～12:05 講義・演習(渡部律子先生)

13:05～16:00 公開事例検討会(事例提供者：荻田靖子)・演習・まとめ

16:05 閉会

◎午前の講義・演習では、経験豊かな相談員によるインテーク面接対応例を視聴した後、各グループで対応に対する気づき、分かった情報、初回面接で気を付けるべきことなどを「利用者・ケアマネジャー役割アセスメントシート」を使って考察・整理し、発表した。

◎午後の公開事例検討会では「気づきの事例検討会」を行い、各グループで上記シートに情報を整理しながら、そこから明らかになった事実、推察、まだ明らかにされていない情報を抽出し、質問の仕方を意識しながら事例の内容を深めていく演習を行った。

考察：渡部律子先生の講義が直接受けられる貴重な機会であり、多数の申し込みがあり、定員ぎりぎりの人数で開催することができた。新型コロナ感染対策で、渡部先生はZoomでのご講義となったが、通信や動画の視聴、画面を見やすい会場配置などを綿密に準備し、タブレットを活用すること等で、講師との距離を感じない、集中できる環境が整えられたと考える。参加者は全体的に積極的な演習への参加、グループディスカッションが行え、最後に公開事例に対する講師の考察を聴く際に涙ぐむ人が多数いるなど、有意義な「気づき」が与えられた研修となった。今後は講義で使われたアセスメントシートを使い、情報を整理・検討する手法を深め、定着できる研修を企画していきたい。

